

準備学習ポイント一覧

科目名	精神看護学援助論	教員名	渡部洋子	学科/区分	看護	必須	履修年次	3
授業計画	回	授業項目	準備学習キーワード 使用教科書掲載箇所(ページ等)					
	1	ケアの人間関係	自己一致、リフレクション、プロセスレコード、違和感の対自化、境界、パーソナルスペース、応答性、 教科書「精神看護学[2]第8章AB(P2～P15)」					
	2	患者－看護師の 治療的援助関係	共同注視、クローズドスタンス、オープンスタンス、オープンクエスション、沈黙、コンフロンテーション、 教科書「精神看護学(2)第8章CD(P15～P42)」					
	3	治療的援助関係の中で 生じる事象	転移・逆転移、感情の器、肯定的感情、否定的感情、攻撃、拒否、スプリティング、 教科書「精神看護学[2]第8章EFG(P43～P63)」					
	4	精神科における 入院から回復のビジョン	回復(リカバリー)、社会生活技能訓練(SST)、ストレス脆弱性－対処技能モデル、アサーティブトレーニング、認知行動療法(CBT)、当事者研究。包括型地域生活支援プログラム(ACT)、脱個性化、スティグマ(社会的烙印)、精神医療審査会、ARP、退院後生活環境相談員、医療保護入院者退院支援委員会、モラルトリートメント、環境療法、施設病、解放処遇、治療共同体、表出感情(EE)、修正感情体験、自尊感情、 教科書「精神看護学[2]第9章(P68～P138)」					
	5	精神看護援助方法 セルフケア看護モデル	オレムアンダーウッド、 事前に資料を配布					
	6	精神看護援助方法 ストレングス	回復(リカバリー)、レジリエンス、ソーシャルインクルージョン 教科書「精神看護学[1]第2章E(p49～P51)第9章A③(P74)第13章A②P266～P268)」					
	7	精神科治療と看護 薬物療法	向精神病薬、神経伝達物質、抗精神病薬、ドパミン、錐体外路症状、アカンジア、パーキンソン症候群、ジストニア、遅発性ジストニア、悪性症候群、肥満・糖尿病・脂質異常症、多飲・水中毒、横紋筋融解症、抗コリン作用、腹部コンパートメント症候群、持続性注射薬、目覚め現象、SSRI、SNRI、炭酸リチウム、抗酒薬、コンプライアンス、アドヒアランス、 教科書「精神看護学[1]第6章AB(P236～P255)と教科書「精神看護学[2]第11章C ②(P198～P209)」を読んでおくこと					
	8	精神科治療と看護 作業療法・レクリエーション療法	作業療法士、全人的復権、精神科デイケア、ナイトケア、デイナイトケア、ショートケア、 教科書「精神看護学[1]第6章D(P274～P278)」を読んでおくこと					
	9	精神科治療と看護 認知行動療法	認知行動療法、児童思考、スキーマ、認知のゆがみ、マインドフルネス 教科書「精神看護学[1]第3章③(p61)、第6章B③(P263)、 精神看護学[2]第9章A④(p76～P82)」					
	10	精神科での身体ケア	アレキシサイミア、ドクターショッピング、接触(タッチ)、身体ケア 教科書「精神看護学[2]第11章(P190～243)」					
	11	精神科で出会う人の看護援助 気分障害	メランコリー、うつ病、気分障害、双極Ⅰ型、双極Ⅱ型、 教科書「精神看護学[1]第5章C③(P183～192)」					
	12	精神科で出会う人の看護援助 パーソナリティ障害・摂食障害	神経性無食欲症、神経性過食症、性同一性障害、パーソナリティ障害、境界性パーソナリティ障害(BPD)、 教科書「精神看護学[1]第5章C ⑤⑥(P203～209)」を読んでおくこと					
	13	精神科で出会う人々の看護援助 依存症	アルコール症、嗜癖、依存、耐性、離脱症状、せん妄、振戦せん妄、小動物幻視、身体依存、精神依存、AA、断酒会、抗酒薬、危険ドラッグ、ダルク、 教科書「精神看護学[1]第5章C⑧(p220～P223)」					
	14	精神科で出会う人々の看護援助 強迫性障害・神経発達症候群	教科書「精神看護学[1]第5章C④⑩(P196～P231)」					
	15	精神科での看護管理	基本的人権、リスクマネジメント、多職種チーム、行動制限、隔離、身体拘束、行動制限最小化委員会、ディエスカレーション、喪失体験、トラウマ、希死念慮、TALKの原則、ソーシャルエクスクルーション(社会的排訴)、アンガーマネジメント、無断離院、リエゾンナース、看護カウンセラー、ピアサポート、SAFERモデル、 教科書「精神看護学[2]第10章(P144～P186)」					
16								